みんなで花を咲かせよう

明石市立二見中学校７３回生　第１学年
学年通信　第１５６号
平成３１年３月１３日（水）

キャリア学習講演会

歯朶原　諭子さんのお話を聴いて



月曜日はキャリア学習の一環として、パリコレでも活躍されている歯朶原諭子さんに来ていただいて、お話をしていただきました。いろいろな経験をされ、たくさんの思いをもち、その思いをあなたたちに伝えてくださいました。いいお話をたくさん聞けて、あなたたちもたくさん勉強になったと思います。上月先生へのメイクやヘアメイクもあり、楽しめましたね。みんなの感想もいいものがたくさんあり、たくさん紹介したいのですが、クラスで数点のみ紹介します。

女子

最初、歯朶原さんの作品を見ていて、とてもすごいと思いました。この人はきっと小さいころから、きらきらした人生を歩んできたのではないかと、勝手に思っていました。けれど、本当は中１の時にとてもつらいことを味わって、学校も嫌になって、親友の方が亡くなったりいじめを受けていたり、勉強ばっかりと私が想像していた学校生活とはほど遠いものでした。そんな中、死にたいと思っていても死なずに今まで生きていてすごいと思いました。そして、やはり、いじめはあってはならないものだと改めて思いました。

そして、ヘアメイクの話で、勉強は大切なんだとわかりました。英語は外国の方と話すのに、国語は漢字や書物等を読むのに、数学は桂を展示するときに、理科は成分に、社会は建物の歴史を話すときに、どれも大切だと思いました。そして、人との出会い、“縁”を大事にしようと思いました。また、言霊の力はすごいなと思いました。歯朶原さんも中１の時にメイクさんになると言葉に出して、今は世界中を飛び回る、有名メイクさんになっているので、私も恥ずかしいですが、自分の将来の夢を友達などに言ってみようと思いました。最後に歯朶原さんが言っていた、“口角をあげる”ことも意識していこうと思いました。





女子

歯朶原さんの中学校時代のお話を聞いて、本当にどれだけ私が楽をしているのかがわかりました。また、歯朶原さんがとても心の広い方で、とても好きになりました。中学の時のことを話すのはとても嫌だと思うし、中学校に来るのも嫌かもしれません。それでも私たちにお話をしてくださって、本当にありがたいなと思いました。メイクアップアーティストだと聞いたときに、もっと近寄りがたいというか、難しいイメージを持っていたけれど、全然そんなこともなくて、とても優しい方だったので、いつかメイクをしてもらう機会があったらいいなと思いました。また片平先生のゾンビ姿が見てみたいです。私も劇団四季のライオンキングを見たことがあって、メイクとかヘアースタイルに感動したので、意外と歯朶原さんがメイクアップアーティストになりたいと思うきっかけが身近にあって驚きました。メイクアップアーティストになるために、勉強はあまり必要ないことなのかなと思っていたけど、何をするにも勉強が必要だと思ったので、しっかり頑張りたいと思います。人と人との“縁”が将来とても生きてくることも今回学ぶことができたので、これからもっと人と人とのつながりを大切にしていきたいと思います。